

「むねのかたち」を治すには

今日は「むねのかたち」の
専門家である永竿教授に
インタビューします

ながさお
永竿教授

before

after

まず
自己紹介を

はい、私の趣味は
漫才をみることで
自分でもよく
ギャグを言います

仕事に
関係あること
だけで
いいです

はい…

30年ほど前に
慶応大学を卒業したあと
3年間外科をやり
そのあとずっと
形成外科をやっています

形成外科とは
「体の『かたち』を
治す外科です」

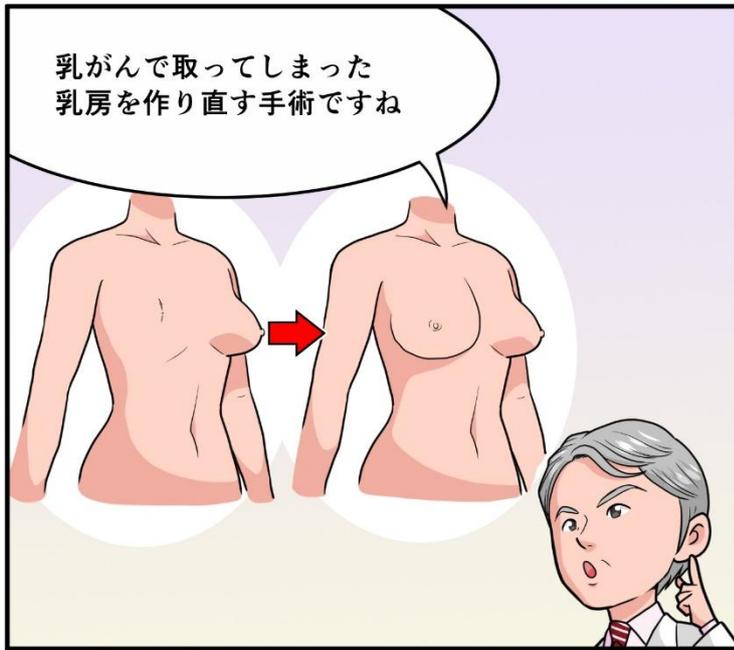
今は「あばら」と乳房を
専門にしています

ホー

なぜその分野に
興味を？

乳がん

はい、私は最初は
乳がんの再建を専門に
していました



乳がんで取ってしまった
乳房を作り直す手術ですね



ところがそのうちに…
乳がんでなく

むねのかたちを
治して欲しいの
ですが…

という方が
増えてきたのです



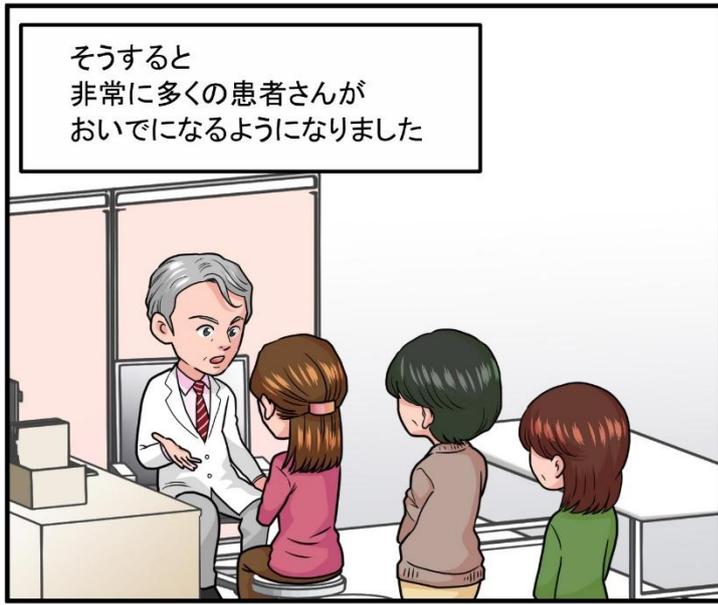
その中には
「あばら」の変形に
悩む方も数多く…

ろうとぎょう
←いわゆる漏斗胸



肋骨や脊椎についても
研究し始めたのです

ホー

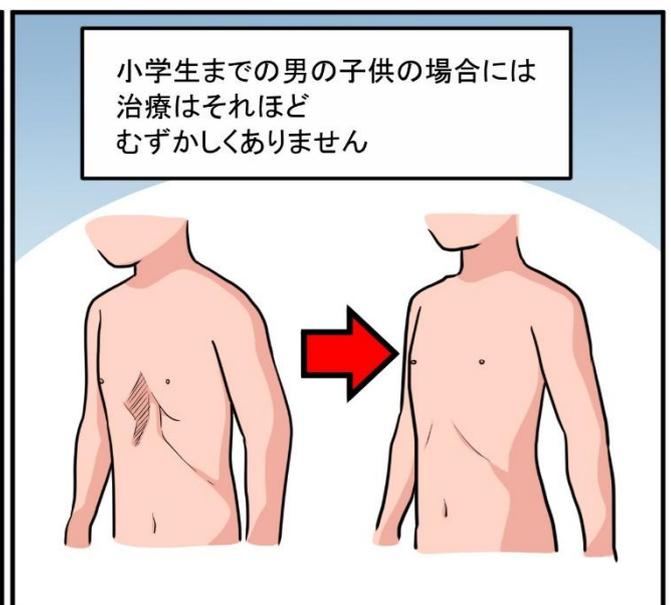
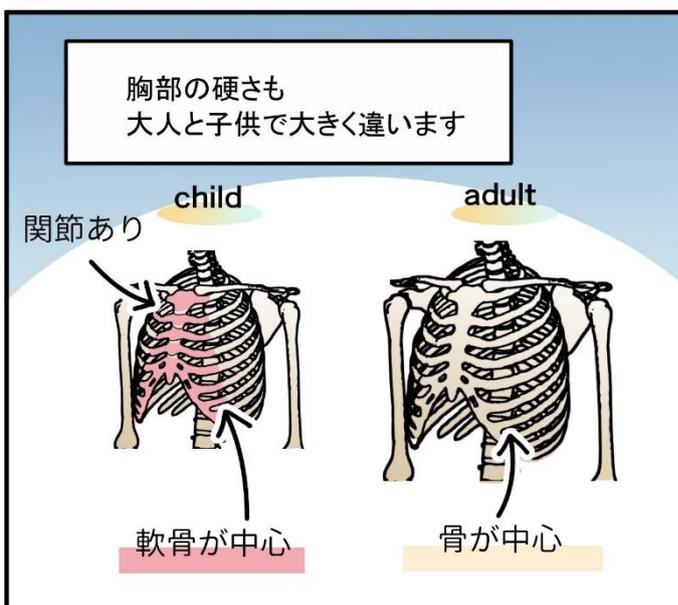
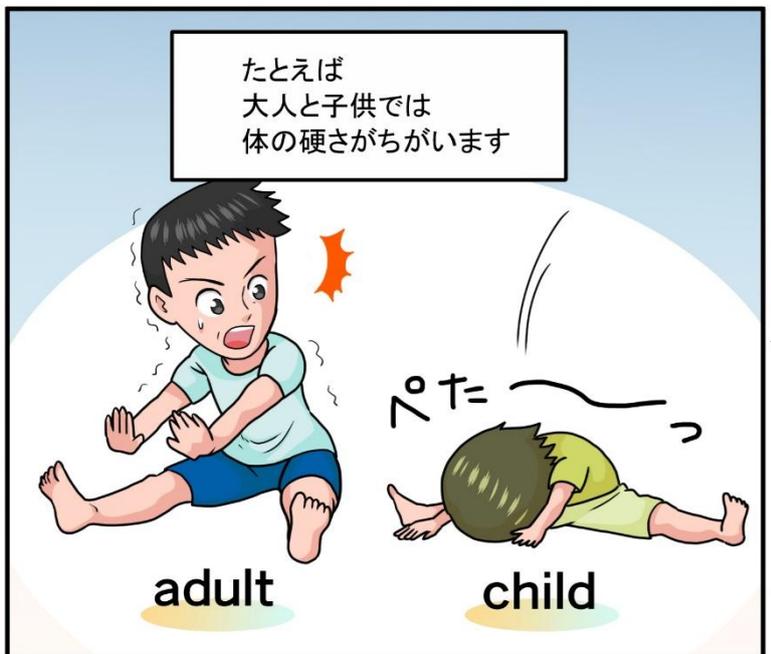
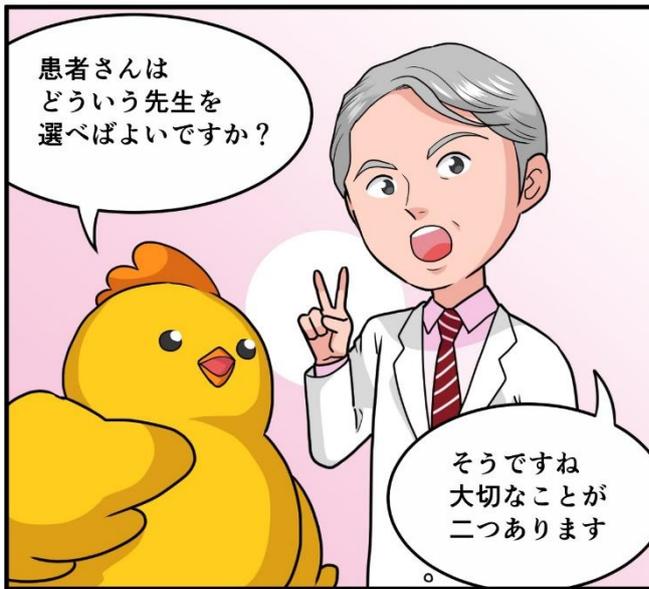


そうすると
非常に多くの患者さんが
おいでになるようになりました



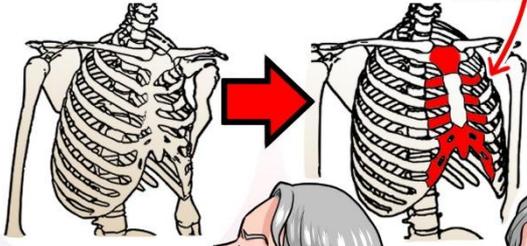
それで
胸の形成外科が
得意になったと

そういうこと



ところが、おとなの手術は
ひと工夫もふた工夫も必要です

骨を切った
箇所



美しい結果をだすには
力学のセンスが必要ですね

すごい
自信だ…



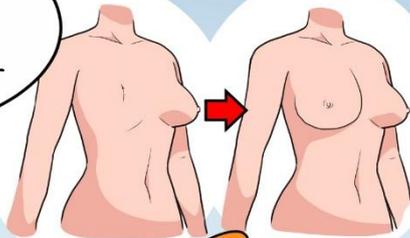
ひとりひとりの
患者さんの胸部には
「個性」があります



私は「なぜ、その術式を選ぶのか」に
こだわって説明をしています



それから
女性の手術には
特殊な技術が必要です



乳房と筋肉とその下にある「あばら」は
「家」と「土台」のようなものです

